



# 環境報告書

2016

Environmental Report

**Denyo**

デンヨー株式会社

# 目次

Contents

編集にあたって...p.3

マネジメント...p.4

社長メッセージ  
環境基本理念  
環境基本方針  
環境管理体制  
環境目標と実績  
環境負荷の全体像

製品における環境配慮...p.10

環境性能の高い製品開発

生産面における環境配慮...p.12

地球温暖化防止  
資源循環型社会の形成  
化学物質の管理

トピックス...p.15

生産拠点における環境対策の状況  
地域貢献活動

# 編集にあたって

Editorial Statement

## 情報開示体制

持続可能な社会の実現に向けた弊社の環境面における取り組みについてステークホルダーの皆様へ下記の媒体にて情報を開示しております。

【年次環境報告書】

<http://www.denyo.co.jp>



## 報告対象期間

2015年度(2015年4月～2016年3月)及び一部内容についてはその前後の期間。

## 発行時期

2016年10月

## 参考にしたガイドライン等

環境省「環境報告ガイドライン(2012年版)」

## お問い合わせ先



デンヨー株式会社

〒103-8566

東京都中央区日本橋堀留町2-8-5

ホームページ <http://www.denyo.co.jp>

経営企画部 TEL : 03-6861-1111

FAX : 03-6861-1185

## 免責事項

本環境報告書には、将来についての予想及び見通しが含まれている場合もございます。これらは様々な要素の影響により、実際と異なる結果になることがあります。

# マネジメント

Management

## Contents

社長メッセージ	…p.5	環境管理体制	…p.7
環境基本理念	…p.6	環境目標と実績	…p.8
環境基本方針	…p.6	環境負荷の全体像	…p.9

# マネジメント

Management

## 社長メッセージ

近年世界中で自然災害が多発しています。その背景には地球温暖化が深く関わっています。世界の平均気温が1度上がると大雨などの異常気象によるリスクが高くなり、2度上がると環境の変化に適応できず、絶滅してしまう生物が増加すると言われていています。こうした地球温暖化の進行を止めるためには、社会全体で温室効果ガスの削減や森林の保護を行うことが急務となっております。

このような中、社会の一員である企業が果たす役割は益々大きくなってまいります。私たちデンヨーグループも、CO<sub>2</sub>排出量を削減する自動アイドリングストップ機能を搭載した製品や、万一オイル漏れが発生した場合でも、外部への流出を極力抑えるエコベースを搭載した製品など環境に配慮した製品の拡充に力を入れてまいります。また、生産拠点や開発拠点を中心に省エネ設備の導入を進め、3R活動・緑化活動などCO<sub>2</sub>と廃棄物削減のための取り組みを積極的に実施しております。

今後かけがえのない地球を健全な状態で未来に残すために、デンヨーグループ一丸となって環境問題に真摯に取り組み、豊かな社会づくりに貢献してまいります。

2016年10月



デンヨー株式会社  
代表取締役社長

白鳥昌一

# マネジメント

Management

## 環境基本理念

デンヨーは、パワーソース製品の提供を通じて、社会インフラの拡充等にグローバルに貢献すると共に、企業の社会的責任として環境保全を深く認識し、環境と調和した事業活動を積極的に推進します。



## 環境基本方針

1. 事業活動における、省資源・省エネルギーの推進、廃棄物の削減、臭気・騒音の低減等、健全な環境の維持向上を図ると共に、環境に配慮した製品の提供を推進し、汚染の予防に努めます。
2. 環境に関連する法規制、及び当社が同意するその他の要求事項を順守すると共に、関連する社会的要求を尊重します。
3. 環境保全に取り組むためのマネジメントシステムを構築し、その継続的な改善を図ると共に、環境目的及び目標を設定し、そのレビューを通じて環境パフォーマンスの向上に努めます。
4. 環境方針は文書化し、従業員及び当社のために働く人全員に周知すると共に、広く一般に開示します。

# マネジメント

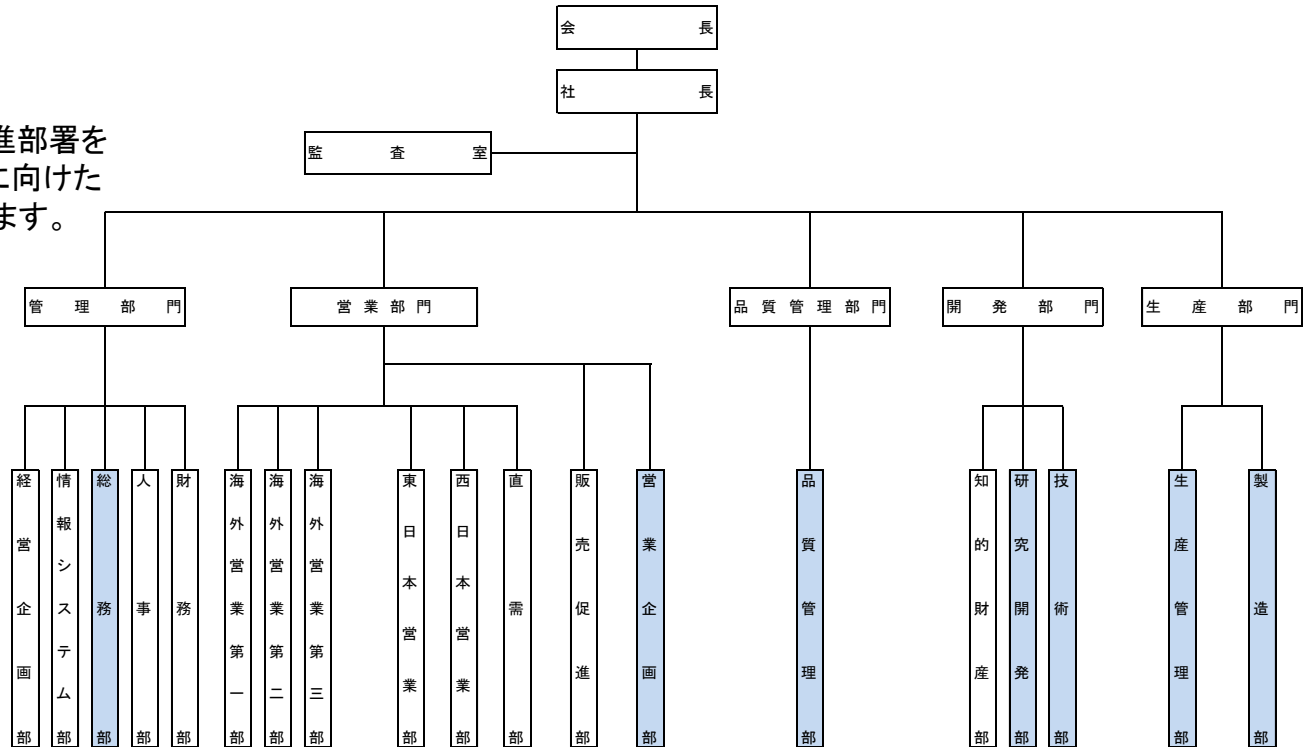
Management

## 環境管理体制

### ● 推進体制

デンヨーでは、下記の推進部署を中心に環境負荷の低減に向けた事業活動を推進しております。

### ■ …推進部署



### ● ISO14001認証取得

デンヨーは、2006年10月19日付けで、環境マネジメントシステム (ISO14001:2004) の認証を取得しております。また、この度グループ会社のデンヨーベトナム社においてもISO9001、ISO14001を取得いたしました。省資源・省エネルギーの推進によるCO<sub>2</sub>排出量抑制、さらには事業を通じて総合的な環境負荷の低減に向けた事業活動を行ってまいります。

# マネジメント

Management

## 環境目標と実績

環境経営を実現するために、年度毎に目標を定めその評価を随時行っております。

項目	2015年度の目標	2015年度の実績	2016年度の目標
環境性能の高い製品の開発	「環境配慮型製品」を開発する。	エコベース搭載機や自動アイドルストップ機能搭載機を拡充した。	「環境配慮型製品」を開発する。
資源循環型社会の形成	2015年度末までに「生産高当たりの産業廃棄物の量」を2011年度比10%以上削減する。	・2011年度比排出量14.9%減 ・2011年度比生産高当たり21.3%減	2016年度末までに「生産高当たりの産業廃棄物の量」を2011年度比15%以上削減する。
	2015年度末までに「生産高当たりの原油換算エネルギー使用量」を2011年度比25%以上削減する。	・2011年度比使用量20.5%減 ・2011年度比生産高当たり26.7%減	2016年度末までに「生産高当たりの原油換算エネルギー使用量」を2011年度比30%以上削減する。
社会貢献活動	「事業所周辺地域に隣接するグリーンベルト」の整備充実を図る。	・福井工場では、工場周囲等の清掃活動や枯れ木の伐採、植木の剪定等を実施。 ・滋賀分工場では、地元の工業団地協会主催の一斉清掃作業への参加や、植樹作業を実施。 ・研究開発部では、開発研修センター周辺の清掃活動や植栽の剪定を実施。	「事業所周辺地域に隣接するグリーンベルト」の整備充実を図る。

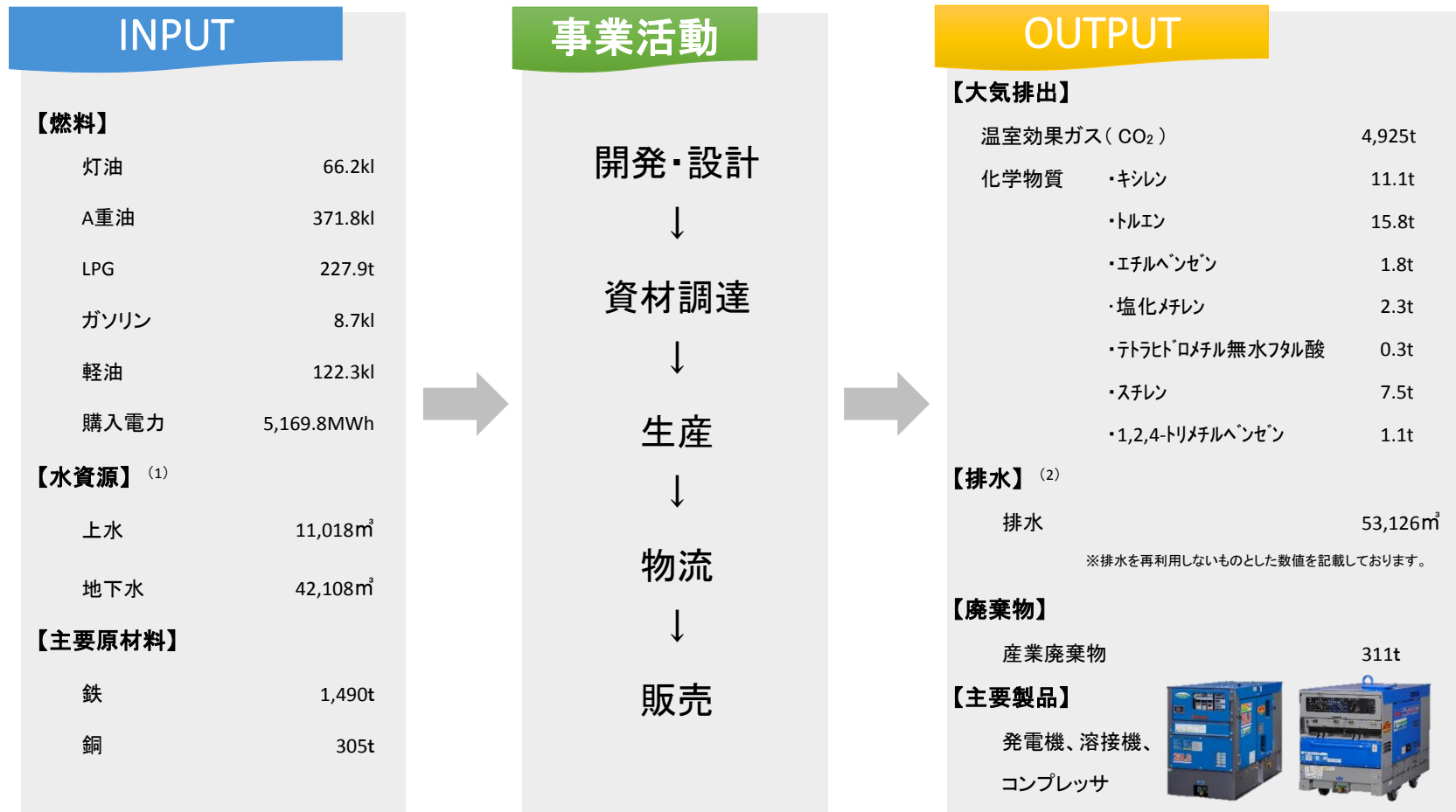


# マネジメント

Management

## 環境負荷の全体像

デンヨーでは事業活動の物質投入量を把握し、環境負荷低減に努めております。



注 (1)(2)の集計対象範囲は、福井工場・滋賀分工場となります。

(2015年度実績)

# 製品における 環境配慮

Eco-Friendly Products

## Contents

環境性能の高い製品開発 …p.11

エコベースエンジンコンプレッサ

リチウムイオンバッテリー溶接機

# 製品における環境配慮

Eco-Friendly Products

## 環境性能の高い製品開発

### ●エコベースエンジンコンプレッサ

エンジンコンプレッサは圧縮空気を供給する土木・建設現場に欠かすことのできない動力源です。そのエンジンコンプレッサにおいても環境に優しいエコベース機の拡充に努めております。

エコベースとコンプレッサ本体を一体化し、不測の事態によって、燃料やエンジンオイルなどが漏れた場合でも本体下部のエコベース部に溜めることで外部への流出を極力抑えます。河川や港湾といった設置基準の厳しい場所でも安心してご使用いただけます。

DIS-60LBEはエコベース仕様でありながら、整備質量330kgという驚異の軽量化を実現し、軽トラックでの運搬を可能にしました。運搬時に発生するCO<sub>2</sub>排出量を削減できるという点でも、環境に優しい製品です。



DIS-60LBE

### ●リチウムイオンバッテリー溶接機

バッテリー溶接機は排ガスが出ないので屋内で使用することができ、エンジン音も発生しないことから周囲にストレスを与えない環境に優しい製品です。そのバッテリー溶接機にリチウムイオンバッテリーを搭載し、さらに環境性能を高めたBDW-150Liを新たにラインアップしました。

リチウムイオンバッテリーの搭載により、4,500回充放電を繰り返しても、バッテリーの劣化率がわずか10%でバッテリー寿命が鉛バッテリーの7倍以上となりました。交換作業が軽減されるばかりか廃棄物となる使用済電池の発生も抑えることが出来ます。



BDW-150Li

# 生産面における 環境配慮

Eco-Friendly Production

## Contents

地球温暖化防止	…p.13
資源循環型社会の形成	…p.13
化学物質の管理	…p.14

# 生産面における環境配慮

## Eco-Friendly Production

### 地球温暖化防止

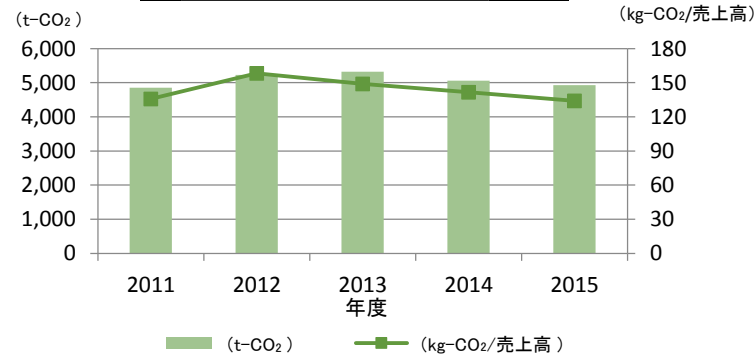
#### CO<sub>2</sub>排出削減

デンヨーでは、事業活動にともない排出されるCO<sub>2</sub>の削減に取り組み、地球温暖化防止に努めております。2015年度のCO<sub>2</sub>排出量は4,925tで、2011年度比1.5%増となりました。東日本大震災以降、火力発電電力量増加にともないCO<sub>2</sub>排出量への換算係数が増加しているため2011年度に比べ数値が悪化しておりますが、CO<sub>2</sub>排出量換算前の実際の電気使用量は2011年度比16.9%、燃料等の使用量は19.8%減少しております。2016年度もCO<sub>2</sub>削減に向けた取り組みを継続して実施してまいります。

	電気 使用量 (千kWh)	燃料等 使用量 (GJ)	換算後の CO <sub>2</sub> 排出量 (t)	売上高当りの CO <sub>2</sub> 排出量 (kg)
2015年度	5,169.8	33,466.9	4,925	134.2
2011年度	6,224.3	41,736.6	4,850	135.9
2011年度比	△ 16.9%	△ 19.8%	1.5%	△ 1.3%

※売上高はデンヨー単体の売上高です。

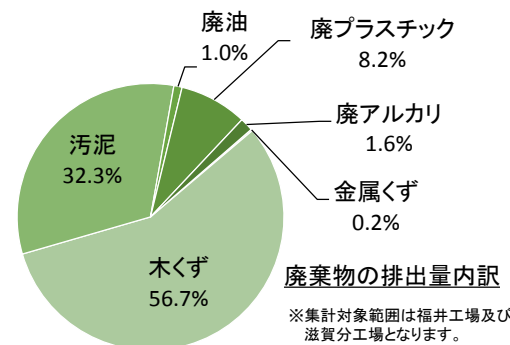
CO<sub>2</sub>排出量及び売上高当りのCO<sub>2</sub>排出量



### 資源循環型社会の形成

#### 廃棄物の削減

廃棄物については、関係諸法令に従い適切に管理及び処理を行っております。2015年度の産業廃棄物の排出量は約311tで、2011年度比生産高当たり21.3%減となりました。今後も安定的に一定量以上の廃棄物を削減できるよう、引き続き取り組んでまいります。



# 生産面における環境配慮

## Eco-Friendly Production

### 化学物質の管理

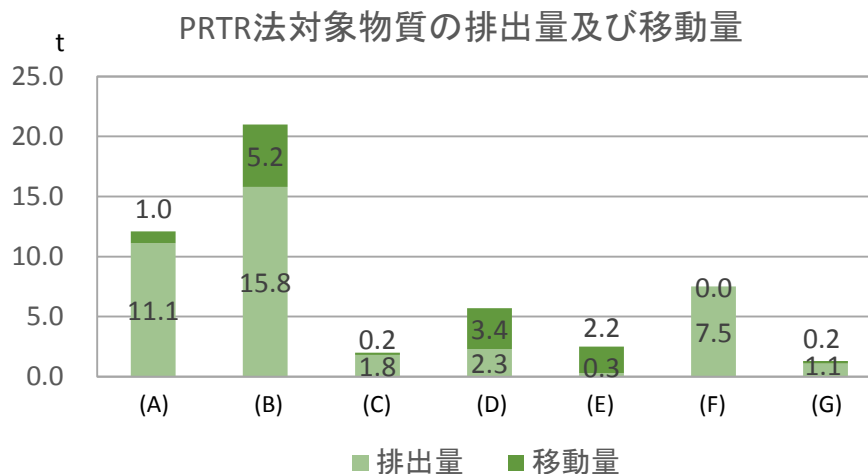
#### ● PRTR対象化学物質の管理

PRTR法に基づき、PRTR対象化学物質の環境への排出量、廃棄物としての移動量を把握し、集計・公表しています。

※PRTR(Pollutant Release and Transfer Register : 化学物質排出移動量届出制度)とは、有害性のある多種多様な化学物質がどのような発生源から、どれくらい環境中に排出されたか、あるいは廃棄物に含まれて事業所の外に運び出されたかというデータを把握し、集計・公表する仕組みです。

物質名	大気への 排出量	移動量
(A) キシレン	11.1	1.0
(B) トルエン	15.8	5.2
(C) エチルベンゼン	1.8	0.2
(D) 塩化メチレン	2.3	3.4
(E) テトラヒドロメチル 無水フタル酸	0.3	2.2
(F) スチレン	7.5	0.0
(G) 1,2,4-トリメチルベンゼン	1.1	0.2

(単位: t)



# トピックス

Topics

## Contents

生産拠点における環境対策の状況	…p.16
地域貢献活動	…p.17



# トピックス

## Topics

### 生産拠点における環境対策の状況

#### ● グリーンカーテン

福井工場では、グリーンカーテンを行っています。グリーンカーテンは室内に入る夏の強い日差しを遮り、熱の原因となる赤外線を反射するため、室内の温度を低く保つことができます。

また、植物が根から吸った水分を茎に蓄え、葉から蒸発させることで、周りの熱も奪ってくれますので、エアコンなどの冷房器具の使用を抑えることができます。見た目にも涼しげなグリーンカーテンは、建物の壁に熱を蓄積させない効果もあるので、ヒートアイランド現象の緩和にも役立ちます。来年度以降、さらにグリーンカーテンの範囲を広げ、省エネ活動に一段と力を入れてまいります。



ゴーヤのグリーンカーテン

#### ● 桜の植樹活動

滋賀分工場では、工場の敷地内に桜の木の植樹を行い、今年の春には早速綺麗な花を咲かせてくれました。今後は周辺地域の皆さまにも喜んでいただけるよう、植樹範囲をさらに広げ、大事に育ててまいります。今後もデンヨーグループでは、植樹をはじめとする緑化活動や清掃活動に積極的に取り組み、職場環境の整備に努めてまいります。



# トピックス

## Topics

### 地域貢献活動

#### ● 若狭町立三方中学校の皆さんによる会社訪問

当社の福井工場がある若狭町の町立三方中学校の皆さんが、東京本社に会社訪問でお越し下さいました。当社に在籍している若狭町出身者と「将来の若狭町をより良くするために、若狭町の豊かな自然を守るためにどのようなことができるのか」について、意見交換を行いました。これからの将来を担う中学生の皆さんの溢れるアイデアに刺激を受け、当社としても生産拠点である若狭町の自然を守りながら、より一層の発展に貢献できるよう、今後も環境と調和した事業活動を推進してまいります。



#### ● その他の地域貢献活動



福井県内の高校生の皆さんによる職場見学会



献血活動

●技術で明日を築く ————— デンヨー®  
**Denyo**

 **デンヨー株式会社**

本 社：〒103-8566 東京都中央区日本橋堀留町2-8-5  
TEL:03(6861)1111 FAX:03(6861)1181  
ホームページ：<http://www.denyo.co.jp/>